



国際医療リスクマネジメント学会

チーム医療安全研修会・2017

(第3回)

主催者の挨拶

今日の医療現場は患者を中心とする多職種・チーム医療が展開されています。医療事故の多くの原因は、院内チームの適切な連携の不足です。

チーム医療では、患者の個人情報、医薬品、他の医療職で実施される医療行為など、様々なリスク情報をチーム医療で共有することが不可欠です。また、多職種の職員たちが安全な医療を円滑に実施するためには、医療安全管理者の適切なチームマネジメント能力が不可欠で、リーダーシップなどが要求されます。

以上の理由から、2015年度から学会認定「チーム医療安全」資格制度を実施し、チーム医療に対する高度な医療安全管理者を育成し、チーム医療上の困難な諸問題を解決するリーダーとして、安全で信頼される医療を推進しています。

なお、医療安全文化の向上には、より高度な知識と機能を有する高度医療安全管理者が不可欠です。そこで、2015年度から日本医療安全学会の協力の下、学会認定の「高度医療安全管理者」資格制度および「高度医薬品安全管理者」資格制度を開始しました。本プログラムはこの2種類の認定資格取得における必須科目でもあります。

本研修会により、あなたの医療機関におけるチーム医療での安全文化が構築でき、患者・家族により信頼され、納得される医療を構築します。

2017年9月

酒井 亮二（国際医療リスクマネジメント学会理事長、日本医療安全学会理事長）

主催者一同